



(公財)日本国際交流センター (JCIE)
 外国ルーツ青少年未来創造事業
 採択事業情報

事業名	CLD (Culturally Linguistically Diverse) 青少年のための市民性教育プログラム		
団体名	高岡外国人の子どもことばと学力を考える会 (アレッセ高岡)		
所在地	富山県		
事業の概要	<p>富山県高岡市は少子高齢化や若者の都市流出等により持続可能性が失われつつある一方で、外国人散在地域であるがゆえに、学習不振や不登校、低進学率等の CLD 青少年がかかえる深刻な問題は見逃されがちである。地域で育った CLD 青少年は、地域社会との接点が非正規職の仕事や消費に限られ、地域社会の周辺に置かれやすい。本事業では、CLD 青少年を主体としたワークショップやフィルムフェスティバル等を通じて地域社会との接点を広げつつ、学習・キャリア支援を強化することで、CLD 青少年が視野を広げ、自尊心を高め、地域の課題に主体的に社会参画していくための基盤作りを目指す。</p>		
事業期間	2020年4月～2023年3月		
助成額 (円)	助成総額	事業費 (管理的経費を含む)	評価関連経費
	17,977,000	17,102,000	875,000
審査ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・外国につながる子どもたちの中学段階でのドロップアウトを防ぐことを目的に教科学習の指導に携わるほか、キャリア支援や進学説明会等も行っている点や、既に8年ほどの活動経験を有しており、現在の活動における限界や課題も良く把握している点は評価できる。 ・地方都市の少子高齢化の現状、CLD 青少年の置かれた現状を踏まえると、CLD 青少年の社会への主体的に参画、正当な社会構成員となるための育成と日本社会へのアプローチが必須であり、その点に焦点をあてた事業であることを大きく評価する。 ・外国にルーツをもつ若者の学習支援を中心に、様々なイベントを通じて彼らのコミュニティの居場所づくりを行うという草の根の活動実績は評価できる。 		

*助成額は、実行団体により提出いただいた計画書類（事業計画・資金計画・評価計画）に基づいて算定しています。